

## 議事要旨

審議会の名称	令和5年度 第1回 豊見城市上下水道事業審議会
事務局	豊見城市 上下水道部 担当：参事監 高良 忍
開催日時	令和5年5月23日（火）10：00～12：00
開催場所	豊見城市役所 3階 第1会議室
出席者氏名 （委員）	同審議会規定第3条第1項 ◇第1号委員（学識経験者） 平敷徹男（琉球大学名誉教授 外） 加藤壮一（日本下水道事業団 教授） ◇第2号委員（利用者代表） 宜保勝美（豊見城市女性会） 津森義弘（豊見城市自治会長会 とよみ自治会長） ◇第3号委員（各種団体・法人関係） 國吉久美（豊見城市商工会 女性部長） 平良智秀（社会福祉法人おもと会 特別養護老人ホーム すみれ 施設長）
欠席者氏名 （委員）	◇第3号委員（各種団体・法人関係） 上原直彦（豊見城市商工会 会長）
事務局職員	豊見城市長 徳元次人 （*当日は別公務により大城副市長対応） 豊見城市上下水道部 高良参事監、比嘉総務課長、金城総務班長、新垣施設課長、 安谷屋下水道工事班長
会次第	1.開会 2.委嘱状交付 3.市長あいさつ 4.委員及び職員自己紹介 5.会長及び副会長の選任 6.諮問書の交付 7.豊見城市上下水道事業審議会について 8.豊見城市上下水道事業概要について 9.その他 10.閉会

<p>開会、委嘱状交付式</p>	<p>大城副市長より各委員へ委嘱状を交付。 任期：令和5年5月23日～令和7年3月31日</p>
<p>市長挨拶 (*大城副市長代読)</p>	<p>本日は、公私共ご多用の中、豊見城市上下水道審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また今回、委員をお務めいただく方々には、大変お忙しい中、お引き受けいただきまして本当にありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>審議会につきましては、本市の水道事業及び下水道事業の運営に関する重要な事項について調査審議を行うため、新たに設置されました組織となっております。</p> <p>さて、私たちが生活していく上で水が欠かせないものでございます。蛇口をひねれば安全で安心して水が飲める。そして、その水が排水口から下水管をとおって処理場に集まり、きれいに処理され、海や川に戻される。この循環を当たり前のことのように持続可能なものにして将来世代へ引き継いでいかなければならないと考えております。</p> <p>しかしながら、本市の上下水道事業運営を取り巻く状況に目を向けますと、2つの大きな課題があるものと認識しております。</p> <p>一つ目は、全国的な傾向でもありますが、人口減少で使用料収入が減少する中において、どのように事業継続をしていくかという課題であります。本市においては、増加傾向を継続しておりますが、国においては推計より11年も早く少子化が進み、沖縄県においても昨年、はじめて自然減に転じたと報道されております。単独処理場を持たない本市においては、将来的にそのような影響が生じてくるものと考えております。</p> <p>二つ目は、上下水道施設の老朽化が進行し、更新時期を迎える施設が増加している状況であります。この更新需要に加え、未整備地区についてどのように対応していくのかという課題です。</p> <p>こうした課題のあるなかで、市民生活に不可欠かつ重要な社会基盤であります上下水道機能を継続的かつ効率的に発揮させるため、長期的な視点で、方策についての委員の皆様からのご忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願ひいたします。</p> <p>この後、事務局より詳しい説明がありますが、委員の皆様には、豊見城の現状と将来あるべき姿をご理解いただき、慎重なご審議をお願ひいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。</p>

	す。ありがとうございました。
委員自己紹介 会長、副会長選出	各委員の自己紹介後、会長・副会長について事務局案にて選出し、会長 平敷徹男委員、副会長 上原直彦委員に決定。
会長挨拶	<p>改めまして、平敷と申します。よろしくお願ひいたします。市長挨拶にもありましたが、将来的な人口減少に伴う使用料減少、上下水道関連施設の老朽化等、経営環境が厳しさを増す中で、サービスの安定的な継続のためには、不断の経営健全化等が必要と考えております。</p> <p>そのため、令和2年度に策定した中長期的な経営の基本計画である「豊見城市上下水道事業経営戦略」の内容に着手出来なかったこともあります。そこで見直し等についても審議会でを行い、経営基盤強化と財政マネジメントの向上に取り組むことが必要と考えております。策定後については、市民負担にも影響が及ぶことから市民の関わる様々な立場からの委員の皆様の意見を出していただければと思います。また、加藤先生には専門的な知見からのご指導やアドバイスを頂きたいと考えております。よろしくお願ひいたします。</p>
諮問書の交付	<p>大城副市長より平敷会長へ諮問書を交付。</p> <p>*交付後、公務のため、大城副市長退室。</p>
審議会運営方法について(平敷会長)	基本的に議事については、非公開とし、議事要旨を後日、市ホームページで公開する取扱いとすることを各委員に確認。
資料の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市上下水道審議会について</li> <li>・豊見城市上下水道事業について</li> </ul> <p>上記について、事務局より説明を行う。</p>
審議会のポイントの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料説明後、今審議会のポイントについて整理</li> <li>・令和2年度策定の「豊見城市上下水道事業経営戦略」については、新型コロナなどの諸般の影響により着手できていない部分も含め、必要な改定を行う。</li> <li>・上下水道使用料水準の検討については、水道事業については健全な経営状況で収支均衡が図られていることから検討せず、下水道事業については、損益計算書で直近2年度、純損失を計上するなど収支面に課題があり、使用料水準の検討が必要である。この方向性で進めて行くことを確認。</li> </ul>
質疑応答	<p>Q. 答申時、下水道使用料の水準検討のほか、時期についても明記が必要ではないか。</p> <p>A. 昨今の社会経済情勢を踏まえ、市民の理解が得られるよう時期の明記は必要である。その他、水準の取扱いについても一括・</p>

	<p>段階的方式、様々な形式を検討していきたい。</p> <p>Q. 水準検討に必要な家庭負担の見える資料が欲しい。</p> <p>A. 様々なシミュレーションを示し、検討を行っていきたい。わかりやすい早見表もあるので、示しながら検討を図る。</p> <p>Q. 接続率などの説明について</p> <p>A. 受益者負担が原則であることから、接続率のシミュレーションの整理、接続率向上に関する施策の検討も説明を行う。</p> <p>その他、以下のとおりの意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料収入については、人口減少のほか、使用水量減少の影響もある。トイレにおいても以前の型式より 1/3 以下程度の水量で使用できるものや食器乾燥機の普及で 1/10 程度になる。節水傾向は進んでいる。汚水濃度が上がっている問題もある。</li> <li>・水量ではなく、水質での使用料算定の可能性については、算出は可能であるが、算出方法は困難でコストがかかり、かえって市民負担を増加させる要因となっている。</li> <li>・</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の日程の確認。</li> </ul> <p>第2回目 令和5年7月14日（金）10時</p> <p>第3回目 令和5年8月22日（火）10時</p> <p>第4回目 令和5年10月24日（火）10時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設見学について</li> </ul> <p>豊見城市が接続している流域下水道の終末処理場（みずクリン那覇）に施設研修を行う。6月末から7月初旬で日程調整を図る。</p>